

2018 夏期「お釈迦さまの教えの実践法」全5回

2018年(平成30年)8月10日(金)～19日(日)の夏期宿泊瞑想会期間中に、茨城県浄心庵精舎において、見習出家を志願された3名の子供たちが来庵されました。

12日(日)は、ニャーヌッタラ大長老のご先導で、仮見習出家儀式が行われ、五法の瞑想をしながら剃髪された子供たちは、十戒と出家名を授かり、念願が叶えられました。

毎朝の礼拝時間には、大長老のご説法をお聴きし、戒律を守りながら托鉢して、お寺で過ごされました。

13日(月)～17日(金)の5日間、精舎内において、「お釈迦さまの教えの実践法」として、朝8時から9時は「三宝の徳」について、午後3時から4時は「慈悲喜捨」について勉強、実践いたしました。

最終日の翌日、大長老は、十戒を守り勉強や作務の功德行を一生懸命に頑張った子供たちを称賛し、慈悲の溢れるお言葉とご祝福をなされました。たくさんの功德を積まれた子供たちは、大変喜び、法のお土産をもって、在家に戻って帰られました。

みなさまの感想を掲載いたします。



- この前来た時よりも慈悲喜捨について広く深く掘り下げて勉強したので、とても理解が深まりました。

ここで得た知識は、日常でも忘れずに実践するとともに、自分の人生での大きな財産になりました。ここで、勉強した少しの事が、これからの人生において大きな意味を成してくると思うので、いつも心のすみに心がけて置きたいと思いました。

ピンニャーサーミ 〈MIN HANSA〉 (16)

- 慈悲喜捨のめいそうをして、心がおだやかに落ち着きました。めいそうをすると夜にねむりにつきやすいです。集中力を上げることもできます。慈悲喜捨のめいそうをすることで僕は温たくなり、みんなが幸せになっていく気がします。四つの心全てを学ぶ事が出来て、たくさんの功德を積むことが出来ました。実践する事で確認が取れますので僕以外にもたくさんの人達がここへ来て学んでほしいと思います。ここで学べる事は、人生の中でとっても大切なので、一生使う事だと思うので生きているうちに、知っておいた方が良くと思います。日常生活でおこってしまうことやねたんだり悪い感情が減り自分の気持ちをコントロールする事が出来るようになると思います。この慈悲のめいそうを世界中の人々が

していたら戦争がなくなるので、この慈悲喜捨のめいそうが広く知れ渡ってほしいと僕は思います。功德たくさん積めました。

ワヤマ 〈MIN YAMAHA〉 (10代)

- ぼくは吉田さんに慈悲喜捨を全5回教わりました。全5回行って、いみも教わり、じっせんもしました。いみを学んでいる時、慈にはこんないみ、悲にはこんないみ、喜にはこんないみ、捨にはこんないみ、四つそれぞれちがういみがあってすごいなと思いました。じっせんをしているときは、ほかの事を考えずにしっかりと集中できました。そして終わった時にはふだんとちがういいかんじがしました。ぼくは慈悲喜捨を学んで、学んでよかったとしっかりとと思いました。これからこのしっかりと学んだこの慈悲喜捨をしっかりとじっせんして自分や家族、神々を初めとしたすべての生きとし生ける者にしっかりと慈悲を送ってみんなが幸せになって、かなしみやくるしみがなくなり、ねがうことがかなえられ、ちえの光が現れますようにと、いつも思っています。そしてこの世界からこのおしゃかさまのこの慈悲喜捨の教えとほかのたくさんのお教えがなくならないようにと思っています。

ニャーナサミ 〈道上潤一郎〉 (10)

お名前とご年齢は、本人の了解を得て、掲載させていただいております。